

研究だより

入新井第五小学校
研究推進委員会
R5年5月12日(金)
第1号

今日的な課題プロジェクト

6年 学級会 「クラスの歌をつくろう」

◎授業について



6年生に進級し、みんなで話し合っ解決したいこと、学級生活をよりよくするために、みんなで取り組みたいことを考えていく中で、「小学校生活最後の1年間は、6年1組だけのオリジナル〇〇を作りたい。」という提案がありました。そこで学級全体に問いかけたところ、「昨年度もクラスのマークを作っていて、クラスで共通のものがあることで、みんなが一つになれた。」という思いがあることが分かったため、今年度昨年度扱いきれなかった「歌」をつくることになりました。

まずは、話し合うこと①「歌詞に入れる言葉」について話し合いました。事前に出し合っていた言葉の中から、「6年生はいろいろな場面で頼られることが多いので、“頼りになる”がいいと思います。」「この話し合いも含めて、自分たちで考えて行動できるようになっているので、“自分たちでできる”がいいと思います。」など、6年1組のよいところをたくさん出し合い、多様な意見のよさを生かしなが話し合うことができました。話し合いの中で、実際に決まった言葉を当てはめて歌ってみると、文字数の関係や前後の言葉のつながりが合わないことに気付き、「じゃあ語尾を変えて短く言えるようにしましょう。」と、何とか自分たちが決めた言葉を歌詞にできるように、臨機応変に考えることができました。

次に、話し合うこと②「歌をどんな時に歌うか」について話し合いました。「とうぶ移動教室も近いし、バスの中で歌いたいです。」「クラスみんなで歌えば団結できる気がするから、学校行事の前がいいと思います。」「帰りの会だと時間的に歌えない時があるかもしれません。」といった、本番を想定した建設的な意見が出されていました。

話し合い活動を通して、子どもたちは互いの意見や考えを尊重し合い、多様な意見のよさを生かして合意形成することができていました。さらに、その後の実践までを一連の活動として、学級や学校の生活を自分たちの力で充実・向上することができたという実感をもてるよう価値づけていきたいと思っています。



☆指導・講評

・授業では、どの子も自分たちの良さについて話せていた。出し合っおいたこと（今回はクラスの良いところ）は、みんなで共通理解を図っておくことが大切である。

○歌詞に入れる言葉が決まった時に、実際に歌ってみたのがよかった。うまくいくところ、うまくいかないところが子どもたち自身で分かり、より歌う本番を想定した話し合いになった。

▲意見の理由を書く際、キーワードで書いていてよいが、書く短冊が小さくて見えにくかった。書かせる際は、文字や短冊を大きくすることや、議題や話し合いの内容によっては、毎回理由を書く必要もない。

